



# INSPIRE+PACK

Multipattern Condenser Studio Microphone

## User Manual



**Mix Wave**

## Before you start

本マニュアルの「Care and Maintenance」ページを必ずお読みください。

また、良品質なバランス接続対応3ピンXLRケーブルと、安定したマイクスタンドをご用意ください。

INSPIREマイクを動作させるためには、48Vファンタム電源が必要です。

ご使用のオーディオインターフェース、ミキサー、マイクプリアンプなどに、48Vファンタム電源を供給可能なXLR入力チャンネルが搭載されていることをご確認ください。

Aimマイクはさまざまな使用環境に耐えられるよう設計されていますが、マイクにファンタム電源を供給する前に、あらかじめすべての接続を完了しておくことを推奨します。これにより、信号系統内の電子部品の寿命をより長く保つことができます。

## Package Contents

INSPIRE + PACKには以下の内容物が含まれています。

- Aim INSPIRE マイクロフォン
- Aim ORBIT ショックマウント (Resorber Ring付属)
- Aim SENTRY マグネット式ポップフィルター
- ソフトキャリーポーチ / ダストキャップ
- 5/8インチ → 3/8インチ マイクスタンド変換アダプター
- ユーザーマニュアル
- 専用キャリーケース

※販売する国によって異なります。

## Care and Maintenance

本マイクロフォンおよびカプセルは、精密機器です。内部にユーザーご自身で修理可能な部品は含まれていません。保証対象外となるため、マイクの改造や分解・修理は行わないでください。万が一不具合が発生した場合は、販売店またはミックスウェア株式会社までお問い合わせください。

マイク本体および付属品の外観と耐久性を維持するため、日常のお手入れには乾いた糸くずの出ない柔らかい布をご使用ください。汚れがある場合は、布を少量の水で軽く湿らせて拭き取ってください。なお、本体やグリル部分には、水以外の洗浄剤を使用しないでください。

マイク本来の性能と音質を維持するため、強い衝撃や過度な力を加えないでください。特に、落下などの機械的ストレスには十分ご注意ください。また、湿気・ホコリ・極端な温度環境を避けてご使用ください。使用しない際は、スタンドに立てたまま放置せず、乾燥した安全な場所に保管してください。

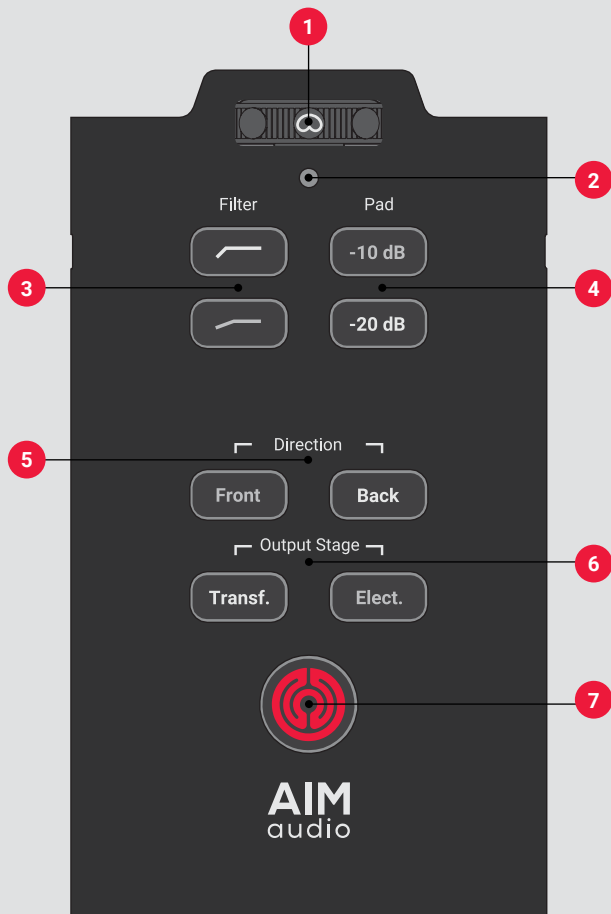
ケーブルを取り外す際は、無理な力を加えないでください。必ずコネクター部分を持って抜き、ケーブル自体を引っ張らないようにしてください。

Aim Audioは、本ユーザーマニュアルに記載された技術情報に従わない不適切な使用によって生じた損害について、一切責任を負いません。これには、誤操作、機械的損傷、不適切な電圧の使用、推奨外機器との接続などが含まれますが、これらに限定されません。

また、法令で認められる範囲において、本マニュアルに従わない使用や不適切な利用によって発生した間接的損害、派生的損害、特別損害、偶発的損害、懲罰的損害などについて、Aim Audioや輸入代理店は一切の責任を負わないものとします。

# INSPIRE

Multipattern Condenser Studio Microphone



## Mic Controls

INSPIREは、高品位カプセルと独自のオーディオ技術を搭載した、革新的なマルチパターン・スタジオマイクロフォンです。

洗練された個性的なデザインとともに、5種類の指向性パターンを備え、あらゆるレコーディングシーンに柔軟に対応します。

また、LED/バックライト付きコントロールにより、現在の設定状態をひと目で確認することができます。

- 1 指向性パターンホイール - 6ページ
- 2 ピークレベルLED - 7ページ
- 3 フィルター - 8ページ
- 4 パッド - 9ページ
- 5 カプセル方向選択 - 9ページ
- 6 出力ステージセレクト - 10ページ
- 7 Aimロゴキー (LED調光 / キーロック) - 12ページ


## 1 指向性パターンホイール

INSPIREの5種類の指向性パターンは、ホイールを操作して選択します。

左から右へ順に、以下のパターンとなります。



指向性パターンを選択するには、ホイール中央に点灯しているシンボルへ合わせるようにホイールを回してください。

 ヒント：指向性パターンを変更すると、ホイール内のLEDが点滅します。

これは各パターンの分極電圧が安定するまで続き、安定すると点滅が停止します。

この動作により、マイクが最適な状態で動作していることを確認できます。なお、無指向性 (Omni) は電子回路の安定に最も時間がかかります。

また、3種類のカーディオイドモードでカプセル方向 (前後) を切り替えた際も、安定化および最適動作が完了するまでLEDが点滅します。

各指向性パターンの詳細仕様や使用のヒントについては、弊社ウェブサイトのガイドをご覧ください。



[aimaudio.com/inspire-polar-patterns](http://aimaudio.com/inspire-polar-patterns)

## 2 ピークレベルLED

Peak Level LEDは、マイクプリアンプの設定とあわせて使用することで、オーディオレベルをより正確に把握するための補助機能です。

特に高音圧環境では、INSPIREに搭載されたPad機能を最適に活用するために役立ちます。このインジケータは、マイク本体のクリッピングポイントを示すためのものではありません。

INSPIRE自体は、内部で140dBを超える非常に高い音圧レベルにも対応可能です。


しかし、多くのオーディオインターフェースのマイクプリアンプ、ミキサー、DAWメーターは、急激なピーク信号を十分な速度で検知・表示できない場合があります。

こうした見えにくい瞬間的なピークは、録音品質へ悪影響を与え、特にセルフレコーディング環境では後のミックス作業を難しくする原因となります。

LEDがオレンジ色に点滅した場合は、ピークレベルへ近づいていることを示します。

LEDが赤色に点滅した場合は、多くのマイクプリアンプ入力段でクリッピングが発生し始める可能性があるレベルを示しています。

また、Padの使用を促すため、LEDは短時間点灯し続けます。

 ヒント：この機能が不要な場合や、広いダイナミックレンジを持つマイクプリアンプをご使用の場合は、Peak LEDを無効化することも可能です。

無効化するには、OUTPUT STAGEキー (Tranf. と Elect.) を同時に2~3秒間長押ししてください。

PeakLEDが2回点滅し、機能が無効になったことを示します。

再度有効化する場合は、同じ操作をもう一度行ってください。

設定内容は、マイクの電源をオフにした後も保持されます。

### 3 フィルター

INSPIREには、用途に応じて使い分け可能な2種類のフィルターを搭載しています。

使用するフィルターのキーを押すと機能が有効になり、キーが点灯します。  
再度同じキーを押すと無効になり、キー背面のLEDが消灯します。



80Hzのローカットフィルターを有効にします。



ヒント：道路の振動音、空調設備のノイズ、床から伝わる振動など、不要な低域ノイズの除去に効果的です。



115Hzのローパスフィルターを有効にします。



ヒント：この緩やかなフィルターは、近接收音時に発生しやすい近接効果 (Proximity Effect) を抑えるのに役立ちます。近接効果は、音源へ近づけて使用した際に低域が強調される現象です。

注意：同時に有効化できるフィルターは1つのみです。  
一方のフィルターが有効な状態で別のフィルターを選択すると、自動的に切り替わります。

### 4 パッド

INSPIREに搭載された2種類のPad機能は、大音量の音源を收音する際にゲイン構成やレベル調整を最適化し、入力歪みやクリッピングを抑えるのに役立ちます。

Pad設定は、-10dB または -20dB から選択可能です。

使用するPadキーを押すと機能が有効になり、キーが点灯します。  
再度同じキーを押すと無効になり、キー背面のLEDが消灯します。

-10 dB



ヒント：最適なPad設定を選択する際は、PeakLEDを目安としてご使用ください。

注意：同時に有効化できるPadは1つのみです。  
一方のPadが有効な状態で別のPadを選択すると、自動的に切り替わります。

### 5 カプセル方向選択

3種類のカーディオイドモードでは、マイクカプセルの指向方向を「Front」または「Back」から切り替えることができます。

切り替えるには、使用したい方向のキーを押してください。



ヒント：別のボーカリストを録音する場合や、ギターアンプへマイクを近接設置する際に便利です。  
Peak LEDや各種設定表示を見やすい向きへ調整できます。

## 6 出力ステージセレクト

ここでは、Aim Audio独自の2種類の出力ステージを選択することができます。

特許出願中の設計により、マイクを変更することなく、それぞれの出力ステージを直接比較できる世界初のシステムを実現しました。

使用したいステージのキーを押すと、そのキーが点灯して有効になります。

### Transf. Transformer 出力ステージを有効にします。

🌀 ヒント：カスタム設計のトロイダルトランスフォーマーにより、低域へわずかな厚みと豊かさを加えつつ、高域には自然なエア感、そして緩やかなトランジエント特性を与えます。

これにより、アグレッシブなボーカルから滑らかなボーカル、重厚なエレキギター、フィンガーピッキングのアコースティックギター、さらにはプラスセクションまで、さまざまな音源へ効果的に使用できます。

また、信号をミックスへ馴染ませるために、過度なコンプレッションや後のエフェクト処理へ頼る必要を軽減できます。

### Elect. Electronic 出力ステージを有効にします。

🌀 ヒント：Electronic (FET) 出力ステージは、トランジエントへの反応速度が非常に速く、超低域を含む高音圧レベルにも優れた耐性を発揮します。

そのため、ドラムオーバーヘッドのような瞬発的な音源や、ストローク系アコースティックギターの収音に最適です。

音の“にじみ”や“ぼやけ”を抑え、輪郭のはっきりしたサウンドを捉えることができます。

注意：本機の2種類の独立した出力ステージ回路は、出力レベル自体は同一ですが、XLR出力へ送られる電気的特性はそれぞれ異なります。

この切り替えを音質へ影響を与えず行うため、内部には電子リレーを採用しています。

そのため、出力ステージを切り替える際、出力に「ポップノイズ」が発生する場合があります。

他の機器へ悪影響を与えることはありませんが、切り替え時はモニタースピーカーやヘッドホンの音量を下げることを推奨します。

また、このリレーを通常の48Vファンタム電源のみで駆動すると、多くのマイクプリアンプ、オーディオインターフェース、ミキサーが供給可能な電流量を超えてしまいます。

そのため、本機には外部電源を必要とせずリレーを駆動できるよう、「チャージポンプ回路」を搭載しています。

この仕様により、マイクを48Vファンタム電源へ接続して起動した直後は、リレー駆動用の電力を蓄えるため、約30~40秒間の充電時間が必要となります。

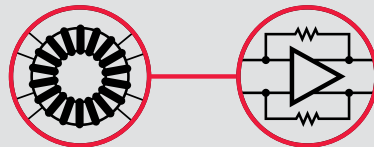
起動後に十分な充電が完了すると、2~3回程度であれば連続して素早く切り替えが可能です。

充電量が不足している場合は、該当LEDが点滅し、切り替え処理が一時停止します。

その後、マイク内部に十分な電力が蓄積されると、自動的にリレーが切り替わります。

通常使用時は、複数回連続で切り替えた場合でも、数秒程度で動作が完了します。

### Toroidal or FET Output Stage?



Your choice!

## 7 Aimロゴキー

Aim Logo Keyは、マイク本体のLEDを一括制御するためのキーであり、キーロック機能のインジケーターストとして動きます。

### LED調光機能

LEDが明るすぎると感じる場面（ステージ使用時や撮影時など）や、LED表示をオフにしたい場合に備え、3段階の明るさ調整と消灯モードを搭載しています。

これらの設定は、Aim Logo Keyから直接操作できます。



LEDを調光するには、Aim Logo Keyが点滅するまで長押ししてください。

その後、希望する明るさになるまでキーを押してください。押すたびに、3段階の明るさ設定と消灯モードが順番に切り替わります。

5秒以内に他のボタン操作やPolar Pattern Wheelの変更が行われなかった場合、Aim Logo Keyが2回点滅し、設定が保存されます。なお、消灯モードに設定した場合は、数秒後に赤色LEDも消灯します。

元の設定へ戻す場合は、同じ手順を再度行ってください。

## キーロック

キーロック機能を使用すると、誤操作によるマイク設定の変更を防ぐことができます。無人状態での使用時などに便利です。

キーロックを有効にするには、「80HzLP Filter」キーと、「-10dB Pad」キーを同時に2秒間長押ししてください。



赤色のAim Logo Keyが2回点滅すると、キーロックが有効になります。

ロック状態では、いずれかのキーを押すとLEDが点滅して入力を知らせますが、設定自体は変更されません。ロックを解除するには、再度上部2つのキーを2秒間長押ししてください。赤色のAim Logo Keyが再び点滅すると、ロック解除となります。

注意：LEDを消灯モードに設定している場合でも、モード切替や設定変更時には、該当LEDが短時間点灯して動作を通知し、その後数秒で消灯します。

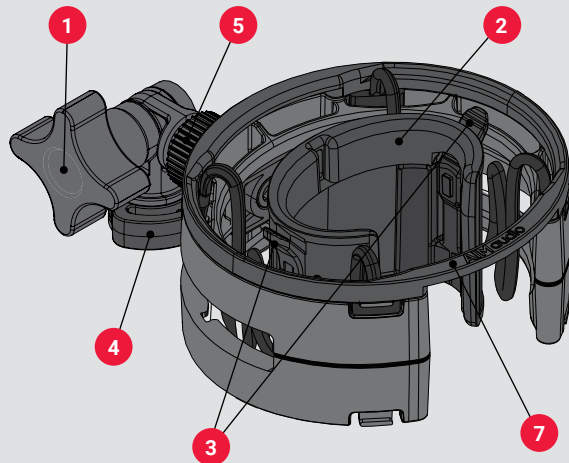
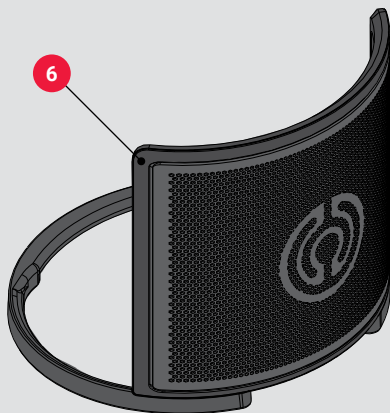
また、3種類のカーディオイドモードでカプセル方向（Front/Back）を変更した際は、安定化および最適動作が完了するまで、Polar Pattern LEDが点滅します。

LEDの明るさ設定に関係なく、Peak Level Indicatorは常に動作します。ただし、7ページ記載の方法で別途無効化されている場合を除きます。なお、いずれかのボタンを2秒以上押し続けた場合、明るさ変更モードやロック / アンロック操作は実行されません。これは、誤操作によるモード切替を防ぐための仕様です。

すべての設定は、マイクの電源をオフにした後も保持され、変更されるまで保存されます。

# ORBIT

Custom Shock Mount



## Take the Shock

INSPIREは、本体底面にスタンド直結用マウントスレッドを内蔵しており、限られたスペースでも簡単にセッティングできます。

また、INSPIRE + PACKには、最大限のショックマウント性能を実現するため、特許出願中の革新的なマルチポジション・ショックマウント「ORBIT」と、「SENTRY マグネット式ポップフィルター」が付属しています。

ORBITは、高強度のロンググラスファイバー強化ナイロン素材を採用しており、軽量で扱いやすく、優れた耐久性を備えています。

- 1 固定クランプ - 16ページ
- 2 ORBIT マイクグリップ - 17ページ
- 3 グリップリリースタブ - 17ページ
- 4 取り外し式ケーブルグリップ - 17ページ
- 5 190° ポジショニングクラッチ - 18ページ
- 6 SENTRYポップフィルター - 20ページ
- 7 マグネット式ResorberRing - 21ページ

## Setting up

ORBIT Custom Shock Mountは、究極のマイクマウントシステムを実現するため、長年にわたり開発を重ねて完成したショックマウントです。

一般的なゴムバンド方式とは異なり、独自設計のCustom Lyre構造を採用することで、スタンド経由で伝わる不要な振動や低域ノイズを高いレベルで吸収します。

また、経年劣化によるたるみが発生しにくい点も特長です。

さらに、前面を半開放構造とすることで、マイク本体のコントロールへ簡単にアクセスできます。

ORBITは革新的なショックマウント設計のため、一般的な製品とは使用方法やセットアップ方法が一部異なります。本マニュアルにも説明を記載していますが、実際の使用方法をより分かりやすくご確認いただけるよう、各手順ごとの動画ガイドもご用意しています。



[aimaudio.com/manual-videos](http://aimaudio.com/manual-videos)

ORBITは、一般的な高品質のストレート型またはブームアーム型マイクスタンドでご使用いただけます。ただし、最適な性能を得るためには、用途や設置位置に適した安定性の高いスタンドをご使用ください。

ショックマウント底部をスタンドへねじ込み、マウントを固定してください。その後、**① 固定クランプ**を使用して、ショックマウント全体の角度を調整します。

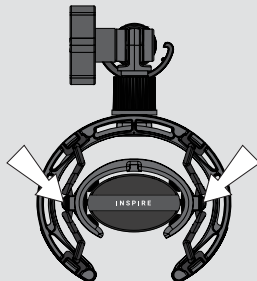
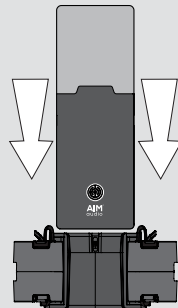
**⑤** ヒント：使用しているマイクスタンド規格に応じて、付属の真鍮製マイクスレッド変換アダプターをご使用ください。

## マイクを設置する

Aimマイクをマウントへ正しく装着するには、上側から、**② ORBIT マイクグリップ**へしっかり差し込んでください。

マイクは、グリップ内部のデュアルラバーインサートによってしっかり固定されます。

装着後は、マイクを軽く下方向へ引いて固定されているかを確認してください。差し込み過ぎて動く場合は、一度調整してからご使用ください。



マイクをマウントから安全に取り外すには、両側面の、**③ グリップリリースタブ**を押してください。

両手の親指でタブを同時に押し込みながら、マイク底部へ指を添えて、上方向へ押し上げるように取り外します。

## 接続方法

XLRマイクケーブルをマイクへ接続してください。マウントに搭載された、**④ 取り外し式ケーブルグリップ**はケーブル経由で伝わる振動やハンドリングノイズを低減する役割を持っています。

**⑥** ヒント：ケーブルは、マイクから一度ゆるやかに下方向へたるませてからクリップへ固定するのが理想的です。

ケーブルを張り過ぎないようにご注意ください。また、マイク装着後に位置調整を行った場合は、一度ケーブルクリップを外して再度固定し、ケーブルができるだけ自然で自由な状態になるよう調整してください。

## Unique Positioning Technology

特許出願中の独自機構により、マウント角度を190°まで自由に調整でき、カプセルを理想的な方向へ向けることができます。

ショックマウント使用時に、「あと少し角度を変えたいだけなのに、スタンド全体を動かさなければならない」と感じた経験はありませんか？

ORBITなら、その必要はありません。

サイドマウント、前向き、後向き、その中間角度まで、自在なポジショニングが可能です。

また、ORBITはINSPIREのBackモード使用時にも対応します。

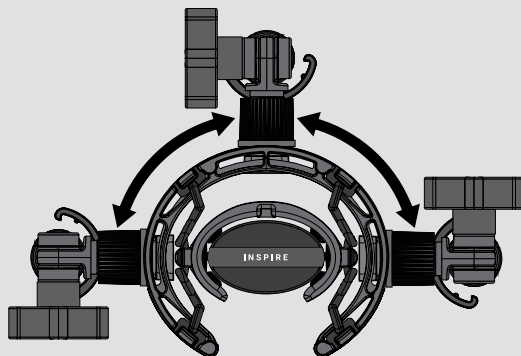
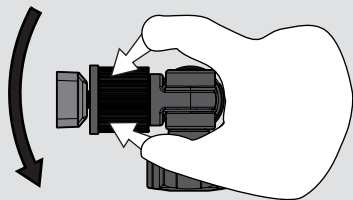
エンジニア側からコントロールやPeak LEDを確認しやすい位置へ調整できるため、ボーカル録音やギターアンプ收音時にも非常に便利です。

### 好みの角度へ調整する

まず、ケーブルがCable Gripへ固定されている場合は、一度取り外してください。

角度調整完了後に再度固定することを推奨します。

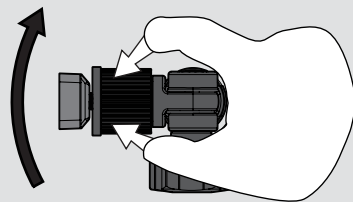
次に、片手でショックマウント前面を保持してください。もう片方の手で、**5 190° ポジショニングクラッチ**外側リングを指でつまみ、反時計回りへ回して緩めます。



十分に緩んだら、外側リングを円周方向へ動かし、希望する位置と角度へ調整してください。

目的の位置へセットできたら、Clutchリングを時計回りへ回して再度締め込みます。

これで準備完了です。



**5** ヒント：ORBITを長期間動かしていない場合、Clutch内部のラバーグロメットが外側フレームへ張り付いた状態になることがあります。

その場合、通常より動きが固く感じられることがあります。その際は、少し強めに力を加えてラバーを“剥がす”ように動かしてください。

ORBITは、非常に高強度なロンググラスファイバー強化ナイロン素材で製造されています。マウントが破損することはありません。

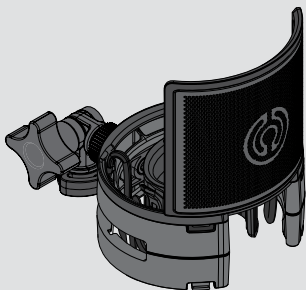
## Catch the pops

Aimマイクには、高性能なデュアルスチールメッシュ式ポップフィルターを内蔵していますが、さらに強い破裂音（ポップノイズ）を抑えるために **6 SENTRYポップフィルター**を開発しました。

SENTRYは、コーティング加工されたステンレス素材を採用し、精密に配置された酸エッチング加工の六角形ホール構造によって設計されています。

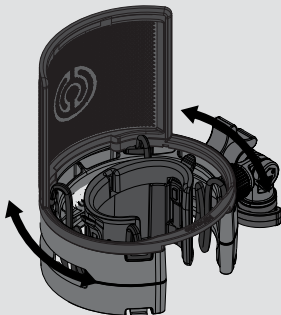
優れたポップノイズ抑制性能を実現しながら、高域の透明感や明瞭さを損なうことなく、自然なボーカル収音を可能にします。

### 両方向で使用可能



SENTRYの取り付けは非常に簡単です。まず、Resorber Ringを取り外してください。その後、SENTRYをORBIT上部へ置くだけで、強力なマグネットによって確実に固定されます。ショックマウントの角度に関係なく、安定した状態を保ちます。

INSPIREのBackモード使用時にORBITのClutchを側面方向へ調整している場合は、BEAKを反対向きへ取り付けることも可能です。



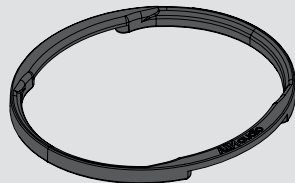
## 不要な共振の抑制

市販されている多くのショックマウントは、本体固有の共振を持っており、それが録音へ影響を与える場合があります。

ORBITは、コントロール操作性を確保するため前面を開放構造としており、さらに軽量かつ高強度を両立するため、新素材を採用しています。

その設計上、ごくわずかな共振が発生する場合があります。

しかし、SENTRYを装着することで、それらの共振は効果的に打ち消されます。また、ポップフィルターが不要な場面向けに **7 マグネット式Resorber Ring**を開発しました。



最適な音響性能を得るため、SENTRYを装着していない場合は、常にResorber RingをORBITへ装着しておくことを推奨します。

装着は、ORBIT上へ置くだけで完了します。内蔵マグネットによって自動的に固定されます。

使用しない際は、ケース内へ保管してください。

**⚠ ヒント**：Resorber RingとSENTRYを同時に使用しないでください。

強力なマグネットによって両方を固定すること自体は可能ですが、SENTRYが本来の位置より高く装着されてしまうため、ポップフィルター性能へ影響を与える場合があります。

## ORBITに関する注意事項 ネオジム磁石について

SENTRY Pop FilterおよびResorber Ringは、強力なネオジム磁石を使用してORBITショックマウントへ固定されます。

これらの磁石は、SENTRY、Resorber Ring、そしてORBIT本体それぞれに専用設計されたハウジング内部へ安全に固定されています。

通常使用において、これらのハウジングから磁石が外れることはないよう設計されています。

ただし、以下の注意事項を必ずご確認ください。

### 1. ベースメーカーについて

SENTRY、Resorber Ring、ORBITをマイクスタンドへ装着していない状態では、ベースメーカーなどの医療用インプラントへ極端に近づけたり、直接接触させたりしないでください。

ネオジム磁石は、このような医療機器へ危険な影響を与える可能性があります。

### 2. お子様について

ネオジム磁石を含む製品は、常にお子様の手の届かない場所へ保管してください。

誤飲や直接接触は、重大な健康被害を引き起こす可能性があります。

### 3. 破損時について

SENTRY、Resorber Ring、またはORBITが破損し、磁石が露出した場合、緩んだ場合、または脱落した場合は、直ちに使用を中止してください。



— B E R L I N —



ミックスウェーブ株式会社

〒154-0012

東京都世田谷区駒沢1丁目16番7号  
駒沢中村ビル2階A室

mail: [sales@mixwave.co.jp](mailto:sales@mixwave.co.jp)

WEB: <http://www.mixwave.co.jp/>

© 2025 Aim Audio  
Berlin, Germany

Due to continuous improvement, features or specifications may change without notice E&OE. All rights reserved.

INSPIRE + Pack UG V1.03